

# 参考資料

**新型コロナウイルスによる全国通訳  
案内士の窮状に対する支援のお願い**

**通訳案内士は、国際観光の振興のために、不可欠なものとして、国において制度化された法定職種です。**

**今や、職業の存立の危機に立たされています。**

我が国においては、これまで、通訳案内士が、訪日外国人旅行者の「言葉の壁」を解消するとともに、快適かつ有意義な滞在を支援することにより、訪日外国人旅行者に対する満足度の高い旅行の提供に貢献してきました。

(通訳案内士法の改正より、業務独占を廃止する)今回の見直しによって、通訳案内業務における参入規制がなくなることで、多くの方がこの分野に参入することが予想されますが、全国通訳案内士は、高い語学力を有しているとともに、訪日外国人旅行者に対して我が国の歴史、地理、文化等について、正確に、かつ直接伝えることができる人材として国家資格を得た者であり、急増する訪日外国人旅行者や多様化するガイドニーズに的確に対応していくためには、今後も重要な役割を担っております。

観光庁としても、質の高い全国通訳案内士が「あこがれの職業」となるよう環境を整備していきたいと考えています

**(2018年 観光研修 テキストより抜粋)**

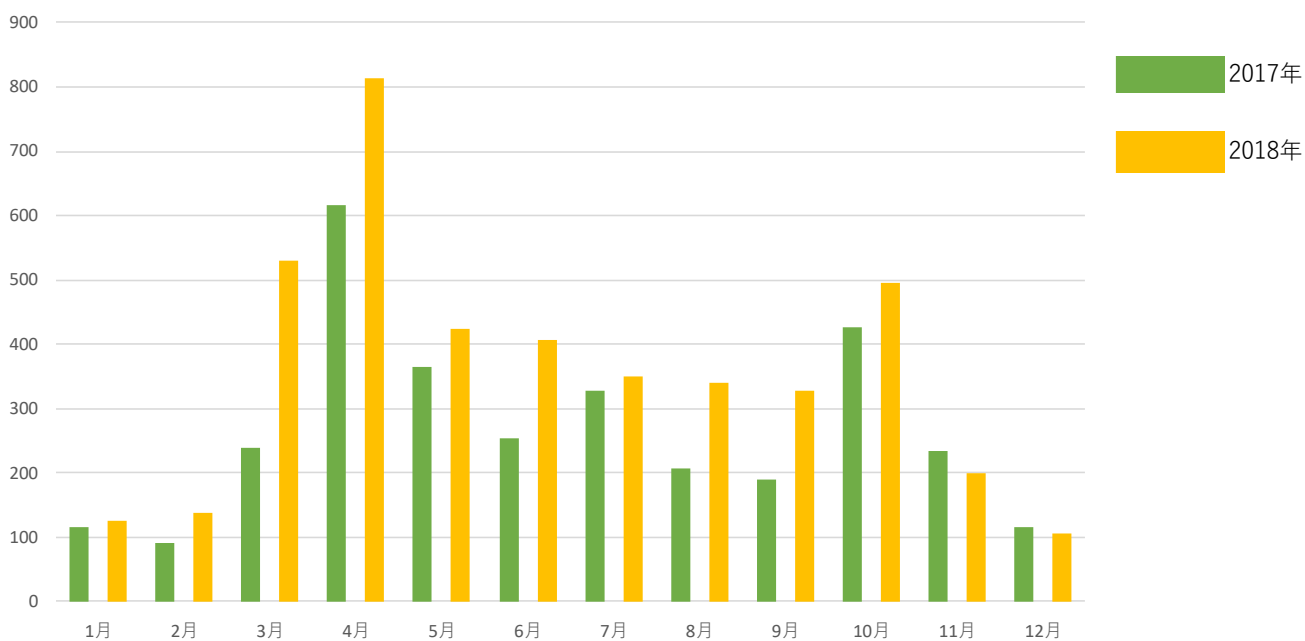
## **減少する通訳案内士試験の受験者数**

### **全国通訳案内士試験の受験数と合格者**

	<b>受験者数</b>	<b>2次合格率</b>	<b>全合格者数</b>	<b>最終合格率</b>
2016	11,307	68.2%	2,404	21.3%
2017	10,564	58.1%	1,649	15.6%
2018	7,651	44.7%	753	9.8%
2019	7,224	44.2%	618	8.5%

3月から5月のハイシーズンで通訳案内士の生活が支えられているため、多くのキャンセルで廃業の危機となっています。

## True Japan Tour 株式会社の通訳案内士への業務依頼件数調査



短期のガイド業務のみで、長期ガイド、スルーガイドは除く

# 特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 (IJCEE) 会員の被害状況調べ

2020年  
3月4日  
現在

新型コロナウイルスによる被害状況調べ

2019年の実績			2020年の実績と見込み		対前年増減数		対前年増減率	
	回数	金額	回	金額	回数	金額	回数	金額
1月	84	1,720,080	47	1,075,740	-37	-644,340	56.0%	62.5%
2月	197	3,797,296	113	2,960,830	-84	-836,466	57.4%	78.0%
3月	580	13,965,614	126	4,320,459	-454	-9,645,155	21.7%	30.9%
4月	794	19,093,925	274	7,212,866	-520	11,881,059	34.5%	37.8%
5月	603	13,635,090	173	4,388,009	-430	-9,247,081	28.7%	32.2%
6月	377	7,815,560	62	1,754,335	-315	-6,061,225	16.4%	22.4%
7月	363	7,234,022	89	2,095,555	-274	-5,138,467	24.5%	29.0%
合計	2,998	67,261,587	884	23,807,794	-2,114	43,453,793	34.2%	41.8%
一人当たり	57	1,269,087	17	449,204	-40	-819,883		

回答総数:53

# 新型コロナウイルスによる全国通訳案内士の経済的損失調査

(2020年3月8~9日調査)

協同組合全日本通訳案内士連盟 (JFG)

## 1月～6月のコロナウイルスが原因のキャンセル日数と減収金額の平均アンケート結果

(332人回答)

### キャンセルによる減収金額の平均

1月のキャンセルによる減収額	¥67,64
2月のキャンセルによる減収額	¥88,015
3月のキャンセルによる減収額	¥233,267
4月のキャンセルによる減収額	¥344,204
5月のキャンセルによる減収額	¥231,033
6月のキャンセルによる減収額	¥112,044

### 3月、4月の昨年の収入実績と今年の収入見込み調査アンケート

(245人回答)

平均金額

昨年の3～4月のガイド収入実績 (金額)	¥722,632
今年の3～4月のガイド収入見込 (金額)	¥452,216



# 令和2年度 観光庁関係予算概算要求概要

## (3) 訪日外国人旅行者の受入環境の向上

### ○ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

(参考官(外客受入担当))

要求額 6,003百万円

全国各地の観光地及び公共交通機関において訪日外国人旅行者がストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、地方自治体や観光地域づくり法人(DMO)、旅館・ホテル、交通事業者その他の民間事業者等が行う、多言語での観光情報提供機能の強化、無料Wi-Fiサービスの提供拡大、キャッシュレス決済の普及、トイレの洋式化、バリアフリー化の推進等に関する取組を個別に支援する。

また、持続可能な観光の実現や災害等の非常時への対応能力の強化等に向けた、地域の先進的な取組をモデル事業として支援する。

### ○ 地方での消費拡大に向けた取組を支援

<p>外国人観光案内所等の整備・改良等 及び災害等の非常時対応の強化</p> 	<p>公衆トイレの洋式便器の 整備及び機能向上</p> 	<p>手ぶら観光カウンターの機能向上</p>  <p>多様な宗教・生活習慣への対応力の 強化</p> 	<p>観光スポット の障壁の解消</p> 
---	--	--	---

### ○ 宿泊施設での滞在時の快適性の向上に向けた取組を支援

■ 基本的ストレスフリー環境整備				
無料Wi-Fiの整備 	案内表示の多言語化 	国際放送設備の整備 	決済端末等の整備 	ムスリム受入マニュアル作成 
■ バリアフリー環境整備				
客室の大規模改修 	トイレのバリアフリー化 	手すりの設置 	エレベーターの設置 	スロープの設置 

### ○ 移動に係る利便性及び快適性の向上に向けた取組を支援

多言語表記 	多言語案内用タブレット 端末等の整備 	無料Wi-Fiの整備 	トイレの洋式化 及び機能向上 	全国共通ICカード、 QRコード決済等の導入 	移動円滑化 
--	--	---	--	---	--

### ○ 実証事業の実施

- ・ 持続可能な観光の推進に関する調査
- ・ 大規模地蔵等に備えた訪日外国人旅行者への情報の集約・提供方法に関する調査

**全国通訳案内士は、常に外国人観光客に接しているので、生きた英語を使用する。宿泊施設や飲食店の従業員の英語指導は、文法中心でなく、わかりやすい英語が不可欠である。語学力が高ければ高いほど、やさしく指導できる。通訳案内士の能力を活用してほしい。**

## 「千葉県海外観光ゲストへのおもてなしスキル向上研修業務」(平成29年、平成30年、令和元年実施)

◎観光・宿泊関連事業の従事者向け研修は、実際に受け入れを担当する従事者に対する研修である。

◎従事者研修では、語学力が少なくても、コミュニケーションが可能になるように、器具やシート等のコミュニケーションツールを活用した初級者研修に重点を置くべきと考える。



◎接客現場を想定した実践研修の最も大切なことは、地域の誰もが、怖がらずに学べる語学指導である。



◎千葉県の(全国通訳案内士を講師とする)語学研修の合算の満足度の加重平均は、4.52であり、過半数の方が5点「とても良かった」との評価を受けた。

◎栃木県外国語対応人材研修講師の評価が、78%が大変満足、良い17%であった。